

とわいてい 埼玉

チエンマイ県メートー幼小中校

保健室建設事業 竣工式典を開催しました！

2020年度の総会（役員会での書面決議）により承認を受けたメートー幼小中校への保健室建設事業が、
現地協力者や建設業者の皆様のご協力のもと無事終了し、昨年12月15日(火)に竣工式典を開催しました。



▲完成した保健室

が進められました。山の工事は材料の運搬から掘削等の作業に至るまで基本的に人力のため、一般的な工事と比べて多くの時間と労力がかかります。少しでも作業効率が上がると、臨時駐車場の屋根の一部を残し、雨でも作業を継続できるようにしたそうです。天候や人手の確保の状況を見ながら建設作業を進め、12月に完成することができました。

工事が無事に終了したことを受け、12月15日(火)に竣工式典を開催しました。当協会からは現地協力者のワンチャイ氏とマイ氏が出席しました。なお、メートー幼小中校が位置するタイ北部地域では仏教徒とキリスト教徒が混在しているという背景から、式典は仏教とキリスト教の両形式にて行われました。

そのほか生徒達によるタイ民族舞踊の奉納が披露され、来賓の教育長とワンチャイ氏によるテープカットも行われました。教育長からは、今後この保健室は地域の医療体制をも補完する大変重要なものとなっていくとお話がありました。



▲テープカットの様子
(左より教育長、ワンチャイ氏)



▲当協会から保健室へ記念品授与

また、当協会から記念品の授与も行いました。大型扇風機や薬品保管用冷蔵庫のほか、日本語教育がさかんなメートー幼小中校の生徒達のために、文房具、お茶道具、日本語の辞書、日本の地図などを贈りました。

今回の保健室建設事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現地滞在が難しく、工事の手配や竣工式典の準備等はすべて日本からスマートホン

を利用して指示・要望を伝え、現地の皆様に進めていただく形で実施しました。この度、無事に竣工式典を迎えられたのは、現地協力者のワンチャイ氏及びマイ氏、メートー幼小中校関係者や建設業者の皆様、またタイ現地と当協会の間に入り、日本から工事や竣工式典の手配を進めて下さった会員の堀田様のご協力のおかげです。誠にありがとうございました。

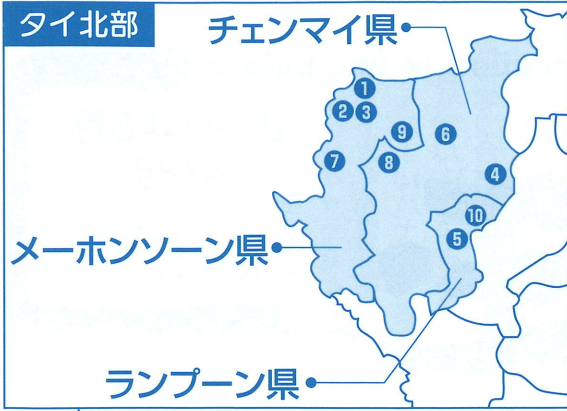


▲竣工式典での集合写真

埼玉・タイ王国友好協会 過去の寄贈施設の近況報告

当協会は埼玉県とタイ王国の友好関係の進展を図ることを目的として1999年3月16日に発足し、公共の支援が十分に行き届かないタイ北部の山岳地域を中心に、教育関連施設の寄贈や奨学支援など民間ベースでの「草の根外交」に取り組んでまいりました。

この度、これまで当協会が寄贈した教育関連施設を現地協力者の方に訪問していただき、どのように活用されているかなど、現在の状況を調査していただきました。



2月4日(休)に訪問し、当協会が寄贈した2棟の生徒寮の状況を確認しました。16年前の建設のため建物は傷みが目立ってきており、生徒が減っているため寮内の掃除や管理も十分に出来ていないとの事でした。生徒が減っている要因としては、学校自体に電気や水道といったインフラ設備が整っていない事です。校長か



- ① パーン・ワットサムシン 幼小中学校
メーホンソン県 パーンパー郡
- 寄宿舎 (47坪×2棟) 太陽光発電装置付
- 2005年2月完成
- 142万B (約391万円)

らはその他にも様々な問題が山積しているという話がありました。特に教室が傾いていて、床や廊下が波打ち、崩落する可能性が高いという事でした。今後とも状況を確認していきたいと思

- ② パーン・マイサピー校
メーホンソン県 ムアンメーホンソン郡
- オープンスタイル教室(34坪×1棟)
- 2006年2月完成
- 38万B (約108万円)



との事でした。ただし、学校全体としてはトイレ設備が整っていないという課題もありました。



- ③ パーン・ナイソイ校
メーホンソン県 ムアンメーホンソン郡
- 図書館 (25坪×1棟)
- 2007年2月完成
- 87万B (約280万円)



目や民族衣装が準備してあったりと、子ども達へ熱心に普及しているそうです。その様な背景から、この図書館はASEANルームとしてリニューアルされています。



- ④ アジアホープ孤児院
チェンマイ県 ドーイサケット郡
- 幼児用寄宿舎 (48坪×1棟)
- 2008年2月完成
- 76万B (約280万円)

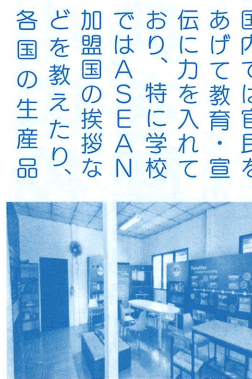


1月22日 (金)に訪問し、当協会が寄贈した幼児用寄宿舎の状況を確認しました。当初は幼児舎として4部屋27人の子ども達が生活できるように造られました。

1月22日 (金)に訪問し、当協会が寄贈した幼児用寄宿舎の状況を確認しました。当初は幼児舎として4部屋27人の子ども達が生活できるように造られました。



タイを含むASEAN加盟国が2015年11月ASEAN経済共同体をスタートさせて以降、タイ国内では官民をあげて教育・宣伝に力を入れており、特に学校ではASEAN加盟国の挨拶などを教えたり、



⑤～⑩は次号で紹介します

⑤埼玉ータイ 光リレー 近況報告



2017年より日タイ修好130周年記念事業として始動した「埼玉ータイ光リレー」は、電気のない村の通学路へ太陽電池式街灯を寄贈する支援事業です。村から村へ光のバトンを繋げていきたいという思いから「光リレー」と名付けられました。

この事業は当初、ランブーン県メーター郡の電気の無い村7村からの要望を受け、それぞれの村へ太陽電池式街灯を設置する計画が進められました。第1回目の2017年はホワイホーム・ノーク村へ5基寄贈し、第2回目の2018年はホワイホーム・ナイ村へ5基寄贈しました。第3回目の2019年は太陽光パネル・電池・インバーターが一体となったリチウム電池式の新型太陽電池式街灯を導入し、従来よりも安く軽重で工事が簡単なため同一予算内でより多くの街灯の設置が可能となり、クンコン村へ10基寄贈することができました。第4回目の2020年も同様にホワイ・ヒヤ村へ10基寄贈しました。残るは北地区に位置する3村でしたが、現地調査から北地区の電気設備の状況が改善していることが分かり、「光リレー」は2020年の第4回目で終了となることが決定しました。

今回はこれまで「光リレー」事業で寄贈した街灯の状況を調査するため、2月15日(月)に、現地協力者の方に地区役場を訪問していただきました。

太陽電池式街灯は耐用年数10年以上の設計ですが、シリコンパネルやインバーター、電池などを含む設備のため、設置後のメンテナンスが課題となっていました。そこで、当初より地区役場にその管理をお願いしていたという経緯があります。今回、地区役場に街灯の維持管理へのお礼を伝えるところにも、現状を伺ったところ、冬は日照不足で一晩中の照明が難しいとのことでした。しかし、いずれの村の街灯も設備の不具合等はなく、順調に通学路を照らしているとの事でした。街灯のおかげで安全に通学できるようになり、子ども達はもちろん親御さんや先生方も大変喜んでいての声をいただきました。この事業を通し、タイ現地の子どもの生活を支援できたことを

光栄に思います。



▲オーボート地区役場 (左：タワッチャイ役場長)

最終回 学生への奨学支援資金授与 第6期支援候補生とのスカイプ面接を実施

当協会では2016年より高校生および大学生への奨学支援資金の授与を行っています。昨年度は第1期支援生徒2名、第2期支援生徒3名、第3期支援生徒2名、第4期支援生徒2名、第5期支援生徒2名の計11名へ奨学支援資金を授与しました。

当協会の奨学支援は高校3年間と大学5年間の計8年間におよぶ長期的な支援となっておりますが、協会の財源と奨学支援の経費を考慮し、今後すべての学生を最後まで支援し続けるためにも、奨学支援生の受入は今回の第6期で終了とする方向で検討をしています。

最後となる第6期奨学支援を実施するにあたり、支援候補生と2021年2月22日(月)にスカイプによる面接を実施しました。

保健室建設支援を実施したチエンマイ県メーター幼小中学校から生徒を選出し、中学3年生2名を候補生としています。メーター幼小中学校はチエンマイの公立700校の中で日本語教育を取り入れている2校のうちの1つで、候補生の2人も日本語を勉強しています。

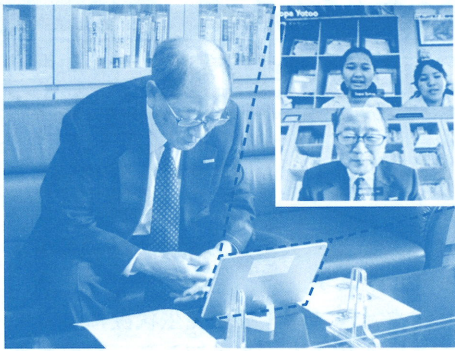
面接当日、タイ現地では候補生のチャンチラー・パンチチャーさんとパニダー・ティントンナムさんの外、ご両親やメーター幼小中学校のプム校長先生、通訳の方、仲介としてご協力いただいた現地協力者のワンチャイ氏及びびマイ氏が同席されました。事務局側は原会長1名が面接に臨みました。

チャンチラー・パンチチャーさんはメーター幼小中学校の中学3年に在学しており(面接当時)、選択科目で日本語を学んでいるそうです。当協会からの奨学支援を受けることができれば、メーリム・ウイタヤコム中学校の日本語科に入学し、さらに日本語の勉強に励みたいとの事でした。そして、ゆくゆくは日本語教師になりたいと意気込んでいました。

パニダー・ティントンナムさんも同じくメーター幼小中学校の中学3年に在学しており(面接当時)、選択科目で日本語を学んでいるそうです。当協会の支援を受けることができれば、メーリム・ウイタヤコム中学校の日本語科に入学し、大好きな日本語を思う存分勉強したいと語っていました。また、将来は日本語のスキルを活かせる仕事に就きたいとの事でした。

候補生の2人はいずれも山岳地域の出身ですが、山岳地域の子ども達は両親が貧しいために高等教育を受けられず、早くに結婚し、貧しい生活からなかなか抜け出せないという現状があります。候補生の2人も貧しい家庭で育っており、現在の生活を改善するためにも、日本語を学んで安定した職業に就きたいという強い思いがあります。

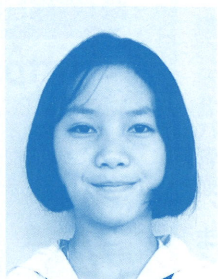
当協会の奨学支援が単なる教育支援に終わることなく、将来的には子ども達の生活改善にもつながることを願って、子ども達が大学を卒業するまで、今後も支援を続けていきたいと思っております。



▲候補生とスカイプで会話する原会長



▲パニダーさん



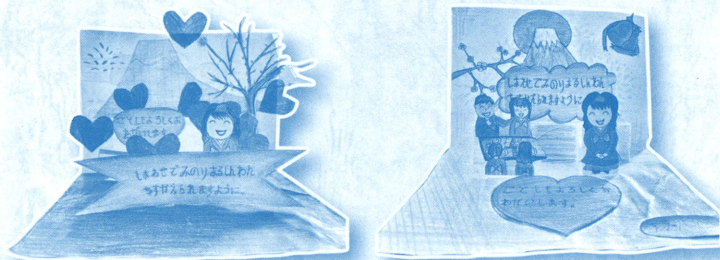
▲チャンチラーさん



メートー幼小中校の 生徒からの年賀状

2020年度支援事業として保健室建設事業を実施したチェンマイ県メートー幼小中校の生徒達から、当協会宛に手描きの年賀状が届きました！

メートー幼小中校では日本語教育が盛んなことから、可愛いイラストとともに「しあわせでみゆりあるしんねんをむかえられますように」という温かいメッセージが日本語で添えられていました。メートー幼小中校の皆さん、心のこもった年賀状をありがとうございました。



第3期支援生徒 大学合格！

2018年より支援を続けていた第3期支援生徒2名が、無事大学に合格したとのうれしい報告が届いています。シンプラパー・スーンパドンさんはチェンマイ大学教育学部に、ナリッサラー・チャツカラガートさんはラチャパット大学社会学部にそれぞれ合格したとのことです。2人は大学でも引き続き勉学に励み、卒業後は村に戻って子ども達の教育や地域の発展に貢献したいと話しているそうです。



▲ナリッサラーさん



▲シンプラパーさん

埼玉・タイ王国友好協会からのお知らせ

タイドラマフェスティバル2021開催！

タイの魅力を日本の皆さんに紹介する企画として、4月3日(土)～4日(日)に、タイ王国大使館を会場として「タイドラマフェスティバル2021」が開催されました！

タイドラマフェスティバルでは、「日本におけるタイドラマの流行について」と題したセミナーのほか、タイの俳優とのオンライン交流イベントが実施され、ご自宅からも楽しめるようにインターネット上で一般公開されました。また、例年5月に代々木公園イベント広場にて開催されていたタイ・フェスティバルの小規模版として、大使館内にてレストランやスーパーマーケット等のブースが集まった「ミニタイフェスティバル」が開催されました。

なお、「タイドラマフェスティバル2021」の様子は下記URLよりいつでも視聴可能となっておりますので、ご自宅ぜひお楽しみください。



<https://www.youtube.com/channel/UCVsoWPmTUm-uvPTxKbHyYpQ>

第23回総会開催

下記の要領で総会を開催します。

駐日タイ王国特命全権大使シントン・ラーピセートパン閣下のご講演を予定していますので、ぜひご出席ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、総会・講演会のみのご予定となっております。

また、今後の新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては中止となる可能性もございますこと、ご承知おきいただきますようお願い申し上げます。

日時:2021年

7月12日(月)

15:00～16:10

総会・講演会

場所:川越プリンスホテル

川越市新富町1-22

☎049-227-1111



▲第21回総会の様子
(第22回総会は書面にて開催)

埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト

<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)

編集後記

コロナウイルスによりタイを訪問することができませんが、スカイプやLINEの活用などオンラインによる草の根外交を展開しています。

寄贈施設の近況報告は、次回号に続きます。お楽しみに。